

句集

中嶋秀夫

Nakajima Hideo

王水

おうすい

季語を深める。強い句を作る。

あらゆるものを溶かす
強力な酸性液である

《王水》のごとき作句姿勢を貫く

前句集「結晶」から五年、対をなす新句集

花
虻
の
翅
音
ば
か
り
の
昼
の
園

ア
ネ
モ
ネ
や
今
は
昔
の
鹿
鳴
館

闇夜にもうかぶ白さや雪柳

しまはずによしと思ふ日春炬燵

日光が花に溢れてチューリップ

貝を掘り尽くす人出や汐干狩

縄文の世もかくあらむ汐干狩

総檜造りの客間君子蘭

揺り籠のやうに舟揺れ春の波

春昼の時計の時刻みな違ふ

何するもなくも起きみて夜半の春

色でいふなら真珠色春の夢

千年を経たれば亀の鳴くと云ふ

子が手より大き葉をはぎ柏餅

人目ひく葉よりも目立ち棕櫚の花

芥子坊主酔ひたるごとくふらつける

ねぢ花のねぢれながらも真直ぐ立つ

神木の走り根おほひ苔の花

クイーンてふ名のつく薔薇の中の薔薇

今のこの色でとどまれ濃紫陽花

池おほひ尽くし池消ゆ布袋草

鯉跳ねし跡を萍はや閉ぢぬ

留守番の昼餉とバナナの房出さる

優曇華の文字もなにやら謎めける

本年も去年の鉢出し金魚飼ふ

腕のべて止まり来し蚊をまた叩く

ぼうふらの疲れ知らずの浮沈かな

つかまへて意外と軽し黄金虫

黒飴がメツカの石めき蟻の列

大蛇の腹が膨れてゐたとも云ふ

南極がテレビに映る涼しさよ

見つけたの声に乱舞の捕虫網

所在なき時にふと開け冷蔵庫

切れさうで切れぬ細さよ冷さうめん

骨抜きにされたるままに冷さうめん

触れ合ひて音の涼しさグラス選る

諸肌を脱いで見てゐる大相撲

焼く人も鰻も焦熱地獄の日

白日傘光の海を航^ゆくごとし

賑やかな夜店の裏の真暗がり

青春の色と香りやレモン買ふ

さう言へば手榴弾にも似て檸檬

コスモスや乙女ごころは揺れやすく

わが力瘤より大き諸を掘る

はぐれたる末に見つけぬ松茸狩

天罰を受けしがごとく石榴裂く

実石榴のつぎつぎ裂けて潔し

あまたなる視線が出合ふ月見かな

生まるるも死ぬるも共に菊人形

地球儀を廻してつづのる秋思かな

中嶋秀夫 なかじま・ひでお

昭和二十三年 二月十二日、奈良に生れる。立命館大学産業社会学部卒業

昭和五十九年 俳句を始める

昭和六十年 NHKテレビ俳句講座巻頭入選

平成元年 「方円」に入会

平成四年 方円賞を受賞

平成五年 「方円」同人に推される

平成九年 第一句集「メタセコイアの森」を上梓

平成十年 俳論書「詩的編作俳句の理論と作品」を上梓

「方円」を退会

仕事多忙につき休俳する

平成二十年 定年退職に伴い句作を再開する

平成二十一年 「狩」に入会

俳人協会会員

狩大阪支部に参加

平成二十六年 第二句集「結晶」を上梓

平成三十年 「狩」終刊につき「香雨」が創刊される

「香雨」に入会

句集 王水 おみず



著 者 * 中嶋秀夫 ©

発行日 * 令和元年八月三十日

発行人 * 島田牙城

発行所 * 邑書林 むらたのり

661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘3-32-1・201

Tel 〇六(六四三三)七八一九

Fax 〇六(六四三三)七八一八

郵便番号 〇一〇〇・三・五五八三二

youchon@fangyoune.jp

<http://youchonshop.com>

印刷・製本所 * モリモト印刷株式会社

用 紙 * 株式会社三村洋紙店

定 価 * 本体二五〇〇円プラス税

図書コード * ISBN978-4-89709-892-0